

(別表1)放牧地等整備事業の補助率及び補助上限一覧表

R7年度(前年度からの変更点なし)

事業内容			一般事業		面積・担い手特認事業		整備内容
対象種目	事業種別	施工方法	補助率	補助上限	補助率	補助上限	
放牧地整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・放牧地の新規造成 ・放牧地の拡大整備 ・採草地等から放牧地への転換等
		自家施工	2/3				
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存放牧地の整備、改良等
		自家施工	1/2		2/3		
牧柵整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・放牧地の新規造成、規模拡大等に伴う牧柵整備等
		自家施工	2/3				
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存放牧地の牧柵整備
		自家施工	1/2		2/3		
採草地整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・採草地の新規造成 ・採草地の拡大整備 ・獣害対策の牧柵整備等
		自家施工	2/3				
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存採草地の整備、改良 ・獣害対策の牧柵整備等
		自家施工	1/2		2/3		
付帯設備整備①	新規	業者施工	1/2	200万円(★)	2/3	300万円(★)	・簡易シェルター ・水飲み場 ・防風壁 ・馬積み下ろし場 ・柵場 ・スプリンクラー ・照明 ・堆肥盤
		自家施工	2/3				
付帯設備整備② (監視システム)	新規	業者施工	1/2	30万円(☆)	2/3	40万円(☆)	・監視システム
		自家施工	2/3				

※原則として、1事業参加者が1事業年度に整備できるのは1牧区までとする。
ただし、牧区外に設置する付帯設備は除く。

(★)収入保険加入者は+100万円

(☆)収入保険加入者は+20万円

(別表2)リース機械等の範囲

R7年度(前年度からの変更点なし)

種別	主な用途	対象機械				
農業用車両・機械	全般	・トラクター	・ホイールローダー	・油圧ショベル 他		
アタッチメント①	全般	・フロントローダー 他				
アタッチメント②	草刈・飼料収穫	・モア	・チョッパー	・ハンマーナイフモア	・ブームモア	・モアコンディショナー
		・ロータリーカッター	・ジャイロテッダー	・ジャイロヘイメーカー	・レーキ	・ディスクモア 他
	梱包	・ペールグリッパー	・ラウンドベアラ	・ロールベアラ	・ロールカッター	・ヘイベアラ
		・ラッピングマシン 他				
	播種・施肥・たい肥散布	・グラスシーダー	・ブロードキャスタ	・マニユアスプレッダ	・マニユアワゴン	・ワイドスプレッダ 他
	草地管理	・エアベーター	・エアレーター	・グランドホック	・サブソイラー	・リバーシブルプラウ 他
	整地・覆土・鎮圧	・K型ローラ	・コームハロー	・チェーンハロー	・パスチャーハロー	・パワーハロー
		・ケンブリッジローラー 他				
その他車両		・馬運車				
その他		・ウォーキングマシン ・協会会長が特に必要と認める機械等				

※機械リース事業参加申込者(牧場)が同一年度内に申請できるのは対象機械1件までとする。

ただし、以下の組み合わせの場合は全体で1件として取り扱う。

(1)「農業用車両・機械」+「アタッチメント①」

(2)「農業用車両・機械」+「アタッチメント②」

(3)「農業用車両・機械」+「アタッチメント①」+「アタッチメント②」

※馬運車は、馬運搬用コンテナのみでも対象とする。

(別表3)特認土地活用促進事業の補助対象施設 実施要領第6の3(1)関連

R7年度(前年度からの変更点なし)

- | | | | | |
|---------|------|---------|----------|------------|
| ・厩舎 | ・堆肥盤 | ・洗い場 | ・粹場 | ・ウォーキングマシン |
| ・飼料庫 | ・車庫 | ・牧場内の路盤 | ・牧場内の給水栓 | ・ロンギ場 |
| ・走路馬場 等 | | | | |

※但し、新たに取得もしくは賃借した土地に、既に設置してあるものの補改修に限る(厩舎のみ建替えも可とする。)

基盤整備事業の補助率及び補助上限一覧表

R7年度(前年度からの変更点なし)

基盤整備			一般事業		面積・担い手特認事業		内容
対象種目	事業種別	施工方法	補助率	補助上限	補助率	補助上限	
放牧地整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・放牧地の新規造成 ・放牧地の拡大整備 ・採草地等から放牧地への転換等
		自家施工	2/3				
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存放牧地の整備、改良等
		自家施工	1/2		2/3		
牧柵整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・放牧地の新規造成、 規模拡大等に伴う牧柵整備
		自家施工	2/3		2/3		
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存放牧地の牧柵整備
		自家施工	1/2		2/3		
採草地整備	新規・拡大	業者施工	1/2	530万円(★)	2/3	700万円(★)	・採草地の新規造成 ・採草地の拡大整備 ・獣害対策のための牧柵整備等
		自家施工	2/3		2/3		
	更新	業者施工	1/3	350万円(★)	1/2	450万円(★)	・既存採草地の整備、改良 ・獣害対策のための牧柵整備等
		自家施工	1/2		2/3		
付帯設備整備①	新規	業者施工	1/2	200万円(★)	2/3	300万円(★)	・簡易シェルター ・防風壁 ・柵場 ・照明 ・水飲み場 ・馬積み下ろし場 ・スプリンクラー ・堆肥盤
		自家施工	2/3		2/3		
付帯設備整備② (監視システム)	新規	業者施工	1/2	30万円(☆)	2/3	40万円(☆)	・監視システム
		自家施工	2/3		2/3		
特認機械リース	—	—	—	—	1/3	400万円(★)	別表のとおり
特認土地活用促進 (面積特認のみ)	補改修	業者施工	—	—	1/2	530万円(★)	別表のとおり
		自家施工			2/3		
特認土地活用促進 (面積特認かつ担い手特認)	補改修	業者施工	—	—	2/3	700万円(★)	
		自家施工			2/3		

※原則として、1事業参加者が1事業年度に整備できるのは1牧区までとする。
ただし、牧区外に設置する付帯設備は除く。

(★)収入保険加入者は+100万円
(☆)収入保険加入者は+20万円